

実施内容	世界と交流しよう！～大使館との交流プログラム～		体験領域	他者理解
日付	令和5年12月9日（土）	場所	体育館	
実施校	品川区立御殿山小学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐日大使や外交官と直接交流することで、国籍や文化の違いを実感し、多様性についての理解を深めるとともに、日本の歴史や文化について改めて考えることをねらいとした内容となっています。 ・ 民族衣装を間近で見たり、楽器を演奏したりするなど、その国の文化に直接「見て、聞いて、触れる」ことを通して、学習できるようにしています。 			

セネガル共和国についての紹介

・今回は、駐日大使より、西アフリカのセネガル共和国(以下、「セネガル」という)の国土や言葉、文化、スポーツなどについての紹介がありました。



・「日本ではサッカーが盛んなことで知られていますが、バオバブの木やパリダカールラリーなども有名です。」と説明があり、児童は興味をもって聞いていました。

クイズ大会

・外交官がセネガルについての2択のクイズを出題しました。「セネガルで有名なサッカー選手は？」という問題に対して、全員が「マネ選手」の解答を選び、「知っています。」などの声が多く上がっていました。



展示品説明・見学

・大使館から持参した民族衣装やサッカーのユニフォームなどの展示品について、外交官より説明がありました。



・サッカーのユニフォームにマネ選手のサインがあり、児童から「本物だ！すごい！」と歓声が上がっていました。

音楽の体験

・太鼓、歌、ダンスのパフォーマンスを見たり、演奏に合わせて、実際に太鼓をたたいたりしました。



・児童は、演者と一緒に体を動かしながら、太鼓を楽しそうに演奏していました。

参加した児童の声・反応

- ・ セネガルについて、サッカーが盛んなことは知っていたけれど、今回の体験を通して、様々なことを知ることができてよかった。大使から紹介があった魚のピラフを食べてみたい。
- ・ 太鼓のアクティビティでは、一緒に太鼓をたたいたり、ダンスをしたり、大きな声で掛け声を掛けたり、すごく楽しかった。演者の人の太鼓がうまかった。